



平成27年3月9日

『米国長期在住者の経験に基づく日本とアメリカ（基礎編）』

- これから活躍される諸君へ -

元 旭化成アメリカ取締役副会長
株式会社アドバンスド・アンテイマイクロビアルス 取締役
古山 俊之氏
を講師に迎え、テラーメイド・バトンゾーン講演会を開催
【聴講自由】

【概要】

本学は、テラーメイド・バトンゾーン教育プログラムの一環として、社会の各分野で活躍するリーダーによるテラーメイド・バトンゾーン講義を開催しています。

テラーメイド・バトンゾーン講義平成27年度異分野融合特論第1講義として、元 旭化成アメリカ 取締役副会長 株式会社アドバンスド・アンテイマイクロビアルス 取締役 古山 俊之氏を講師に迎え、次のとおり開催します。

テラーメイド・バトンゾーン講義「異分野融合特論 第1講義」

日 時：平成27年4月16日（木）14：40～16：10

場 所：豊橋技術科学大学 講義棟 A2-101

講 師：古山 俊之氏

（元 旭化成アメリカ 取締役副会長 株式会社アドバンスド・アンテイマイクロビアルス 取締役）

講演テーマ：『米国長期在住者の経験に基づく日本とアメリカ（基礎編）』

- これから活躍される諸君へ -

聴講自由・事前申込み不要です。

別紙チラシもご参照ください。

【講演概要】

2014年から文科省による「トビタテ留学 Japan」プログラムも始まり、日本の産業界も多様な人材が社会で活躍する「多様性の重要性」を求めている。日本と米国は構造的違いがあるとの指摘が多く見られるが「何故そうなのか」についての説明は、中々見付からない。米国に長期在住し留学経験も有する演者が、その経験に基づき、日本と米国を比較し、基礎的立場から説明を加え、これから日本はどうすべきか考えるための参考見解を提供する。

【講師略歴】

1955年 甲南高校卒
1959年 大阪大学 理学部化学科 卒業
同年 旭化成株式会社入社
1965年 フルブライト交換留学生としてニューヨーク大学ポリテクニク工科大学院へ留学
1969年 同大学院 博士課程修了（理学博士 米国 Ph.D）
1973年 旭化成アメリカ勤務
1994年 旭化成アメリカ取締役副会長
1998年 旭化成アメリカ顧問
2012年 旭化成アメリカ顧問退任
同年 株式会社アドバンスド・アンティマイクロビアルス取締役・共同創業者 現在

テラーメイド・バトンゾーン教育プログラム

平成22年4月より開始した本学独自の人材育成プログラムで、次代を担う社会のリーダーを企業と協働しつつ育成することを目的とした独自の博士課程プログラム。現在22名の学生が履修している。

このプログラムでは、実社会で高度の専門性を活かして、環境、経済、技術情勢などの変化に対応して社会変革、産業技術の創出、公共社会の発展や科学・技術の進歩などを担う社会のリーダーとしての資質やマネジメント力の涵養を目標として、社会の各分野で活躍するリーダーによるテラーメイド・バトンゾーン講演と、スーパーリーダー塾「トップと語る会」（リーダーとプログラム履修生による少人数制の寺子屋的な懇談会）ならびに次世代の技術社会を牽引するリーダー育成を目指した様々な講義を開講している。

特に、平成23年4月からは世界のトップクラスの企業の経営者、研究機関の研究者、他大学の先生方、そして企業経験を持った本学教員が連携して通年講義である『開発リーダー特論』も加えて開講している。ここでは、企業とは何か、国際化とは何か、そして将来の技術開発の在り方とは何か、などについて深く学び、社会を牽引できる実力あるリーダーの育成を目指している。

本件に関する連絡先

テラーメイド・バトンゾーン教育推進室 TEL 0532-81-5116

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL 0532-44-6506



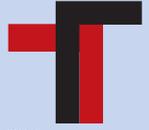
TAILOR MADE BATON ZONE

国立大学法人 豊橋技術科学大学

テーラーメイド・バトンゾーン教育プログラム

— 解の見えない課題に挑戦するリーダーシップを持った博士を育成するプログラム —

平成27年度 異分野融合特論 第1講義



国立大学法人

豊橋技術科学大学

『米国長期在住者の経験に基づく日本とアメリカ(基礎編)』

—これから活躍される諸君へ—

講師

元 旭化成アメリカ取締役副会長
株式会社アドバンスド・アンティマイクロビアルス 取締役

古山俊之 氏



日時 平成27年 **4月16日 木** 14:40~16:10

場所 豊橋技術科学大学 ● 講義棟 A2-101

概要 2014年から文科省による「トビタテ留学Japan」プログラムも始まり、日本の産業界も多様な人材が社会で活躍する「多様性の重要性」を求めている。日本と米国は構造的違いがあるとの指摘が多く見られるが「何故そうなのか」についての説明は、中々見付からない。米国に長期在住し留学経験も有する演者が、その経験に基づき、日本と米国を比較し、基礎的立場から説明を加え、これから日本はどうすべきか考えるための参考見解を提供する。

略歴 1955年 ● 甲南高校 卒業
1959年 ● 大阪大学 理学部化学科 卒業
同 年 ● 旭化成株式会社入社
1965年 ● フルブライト交換留学生としてニューヨーク大学ポリテクニク工科大学院へ留学
1969年 ● 同大学院 博士課程修了(理学博士 米国Ph.D)
1973年 ● 旭化成アメリカ勤務
1994年 ● 旭化成アメリカ取締役副会長
1998年 ● 旭化成アメリカ顧問
2012年 ● 旭化成アメリカ顧問退任
同 年 ● 株式会社アドバンスド・アンティマイクロビアルス取締役・共同創業者 現在

聴講自由

本教育プログラムでは、チャレンジ精神に富む学生を募集しています。
<http://www.batonzone.tut.ac.jp/>

本件問い合わせ先

豊橋技術科学大学
テーラーメイド・バトンゾーン教育推進室

● 電話 0532-81-5116 ● 内線 5346・5344
● E-mail office@batonzone.tut.ac.jp

後援 社会人キャリアアップ連携協議会